

勝浦中学校校舎改築計画 基本設計

一部抜粋

■配置計画

<配置計画基本コンセプト>

○学校づくりとして最適な北側校舎・南側グラウンド配置（現校舎と同じ勝中の思い出づくり）

○生徒の安全性を考慮した施設づくり

○人にやさしいユニバーサルデザインの採用

○学校づくりとして最適な北側校舎・南側グラウンド配置（現校舎と同じ勝中の思い出づくり）

新校舎配置としては、一般的に学校配置として最適な北側に校舎・南側にグラウンドの配置を採用します。校舎の影がグラウンドに落ちることなく、また南側採光が可能な位置に、管理諸室を設けることができ、明るく開放的で、管理のしやすい校舎づくりが可能となります。

また、現在の校舎と同じ位置となり、勝浦中学の学校生活の思い出づくりとして今までの勝浦中学校のイメージを受け継ぎ、町民の心にも残る校舎となります。

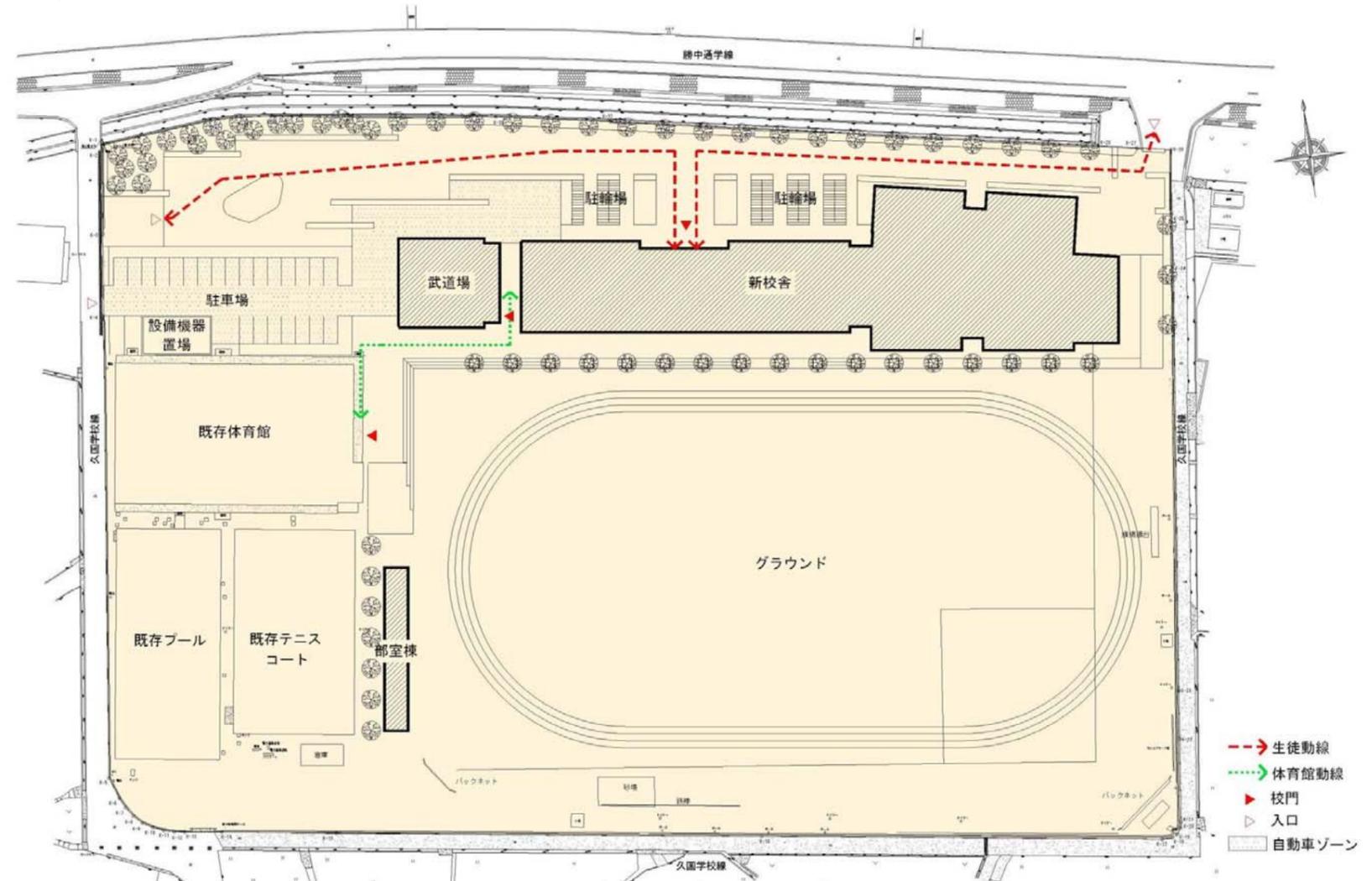
全体配置として、現状の正門前空間を広げ、校舎・武道場を東側へ配置し、既存の体育館を含め、建物全てがグラウンドに面した、L型の校舎配置を採用し、施設全体の一体感向上を図ります。

○生徒の安全性を考慮した施設づくり

正門・東門から生徒がアクセスする歩行者・自転車ゾーンと先生方・来校者が利用する自動車ゾーンとを明確に分離し、生徒の安全性を第一に確保します。また、昇降口は敷地の中央部に配置し、東西両方からのアプローチのしやすい配置とします。

○人にやさしいユニバーサルデザインの採用

外構計画のレベル設定において、校舎1階レベルと既存体育館レベルと同じとし、段差なく往来できるユニバーサルデザインに基づいた計画とします。そのためにできたレベル差を配膳車の床高さに合わせることで、スムーズな搬入も可能となります。



■平面計画

<平面計画基本コンセプト>

○生徒動線を考慮した明確なゾーニング計画

○生徒のアクティビティを喚起する「場」の創造（勝中ステージ・交流の場・「房」）

○自然エネルギーの有効利用（エコシャフト・エコスリット・ライティングガーデン）

○生徒動線を考慮した明確なゾーニング計画

全体の諸室配置としては、生徒動線・利便性を第一に考え普通教室を中心に配置を行います。校舎の中央部に普通教室ゾーン（1階は職員室などの管理諸室）を配置し、西側体育館に近い位置に武道場ゾーン・東側に特別教室ゾーンといったように、明確なゾーニング構成を採用します。

昇降口を視認できる位置に職員室・保健室を配し、南側採光が可能で、管理しやすい諸室配置とします。

○生徒のアクティビティを喚起する「場」の創造（勝中ステージ・交流の場・「房」）

普通教室廻りには、学年それぞれに多目的スペースとトイレを整備し、学年毎の一体感を高める計画とします。また南側の広いデッキテラス（「勝中ステージ」）が生徒のアクティビティを喚起し、多様な利用形態・多様な動線を確保し、活気ある学校づくりに寄与します。

特別教室ゾーンでは、「ライティングガーデン」を取り囲む形で諸室を配置し、明るく開放的な廊下空間を確保します。「ライティングガーデン」に隣接する多目的スペースは、図書室・コンピュータ教室と共に、メディアセンターとして機能するとともに、生徒のアクティビティの中心となる空間となります。また、小さい憩い空間である「房」を随所にちりばめることによって、偶発的な出会いや思い出のきっかけを創出する学校づくりを目指します。

○自然エネルギーの有効利用（エコシャフト・エコスリット・ライティングガーデン）

自然エネルギーを活用する手法として、「エコシャフト」・「エコスリット」・「ライティングガーデン」が有効に機能します。自然採光・自然通風を確保し、ランニングコストの低減を図るとともに、光溢れる豊かな校舎を実現します。



■外観計画

～ふるさとの誇りとなる空間・デザインの創造～

この勝浦中学校は勝浦町で唯一の中学校であり、勝浦町での最後の義務教育の場となります。この中学校で学習した生徒たちが、「おもいで」として、卒業後にもこの勝浦中学校に誇りを感じることができるよう学校づくりをめざします。計画地は、中津峰山・六郎山・太竜寺山など標高600m～970mといった山々に囲まれ、その谷合いを走る勝浦川沿いに位置しています。豊かな自然に包まれたこの地に建つ中学校として、周辺地域との調和を目指し、デザインを展開する必要があります。

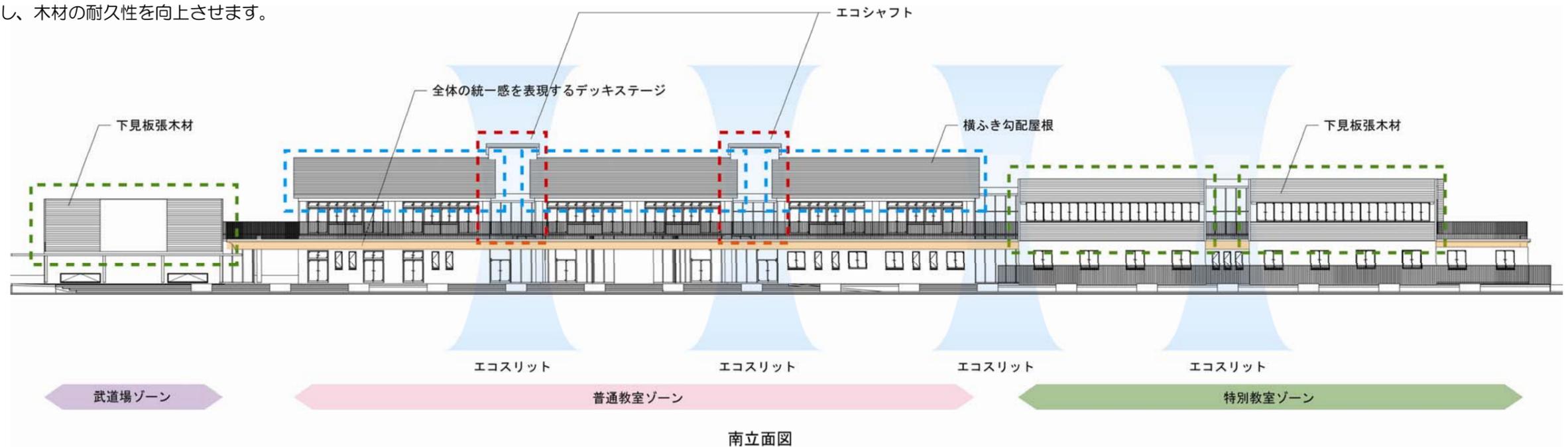
<外観基本コンセプト>

- 周辺環境と調和し、勝浦町のシンボルとなる外観づくり
- 勝浦川や山間の自然を体感するステージとしての学校づくり
- 自然と共に呼吸する建物デザイン



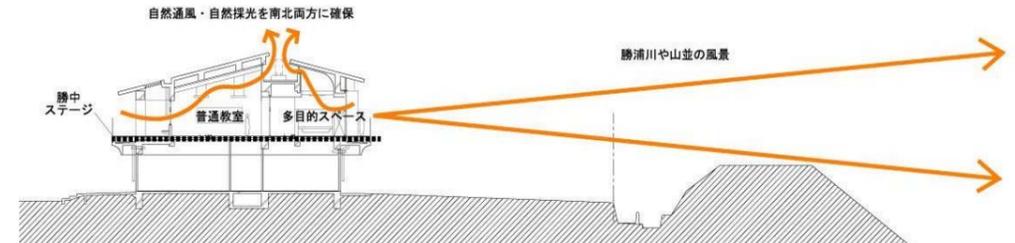
○周辺環境と調和し、勝浦町のシンボルとなる外観づくり

建物全体を一つの大きなボリュームとして表現するのではなく、ユニット毎に分節化を行います。学校全体が、集落の集合体として表現されるため、地域集落に近い親しみやすい外観を目指します。それらをデッキテラス（勝中ステージ）が連結し、全体の統一感も同時に表現します。さらに普通教室群の横葺勾配屋根の軒先や武道場・特別教室群の木板横張といった、地域になじむ水平線を強調することで、より一層の一体感を確保することができます。木板横張は徳島県産材の杉材を採用し、木材特有の暖かさを表現するとともに地元の林業促進にも寄与します。また木板部は、現校舎の面影を踏襲する傾斜壁とし、木材の耐久性を向上させます。



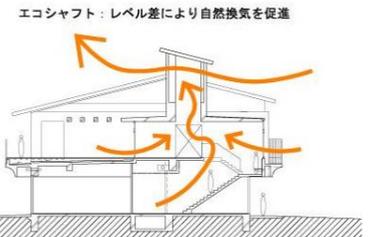
○勝浦川や山間の自然を体感する「勝中ステージ」

分節する校舎群に一体感を付与する「勝中ステージ」は、生徒が活動する重要なステージとして機能します。生徒の毎日の学校生活はこのステージを中心に、活動することになります。特に南側（グラウンド側）のデッキテラスは、4.7mと広い幅員とし、単なる移動動線ではなく、生徒が集い・憩い・親しむ空間として整備します。また北側のデッキからは、勝浦川や山並を望むことができ、旧校舎と同じ思い出を体感することが可能です。



○自然と共に呼吸する建物デザイン

豊かな自然に包まれた学習環境において、自然を常に感じることができる校舎づくりを目指します。普通教室・多目的スペースにおいて、勾配屋根は、夏の強い日射を制御するとともに、南北からの採光も可能となり、自然採光・自然通風を積極的に促す計画とします。またこの勾配屋根には、グラウンド・町から見える位置に太陽光発電パネルを施し、生徒や地域の環境啓蒙にも寄与することとなります。さらに階段上部に位置する3層吹抜のエコシャフトは、そのレベル差から、煙突効果による上昇気流を生み出すシャフトとなり、普通教室群全体の換気を促進する機能を有します。また南側に配置した落葉樹は夏季に日射を防ぎ、冬季に日照を確保します。

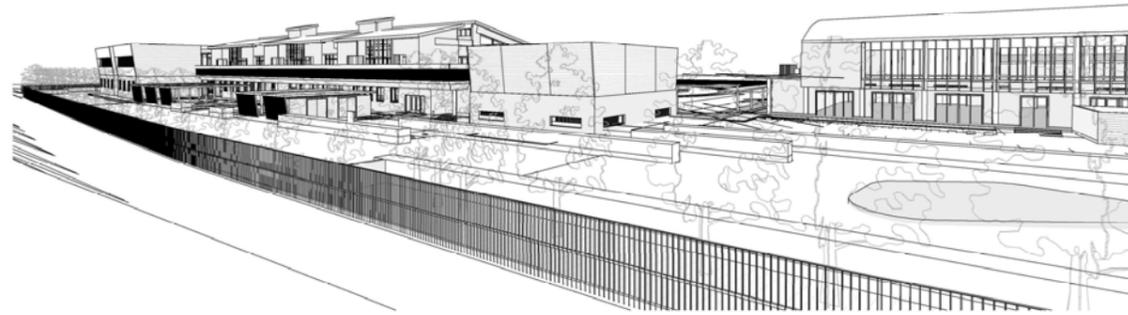




外観パース（北側）



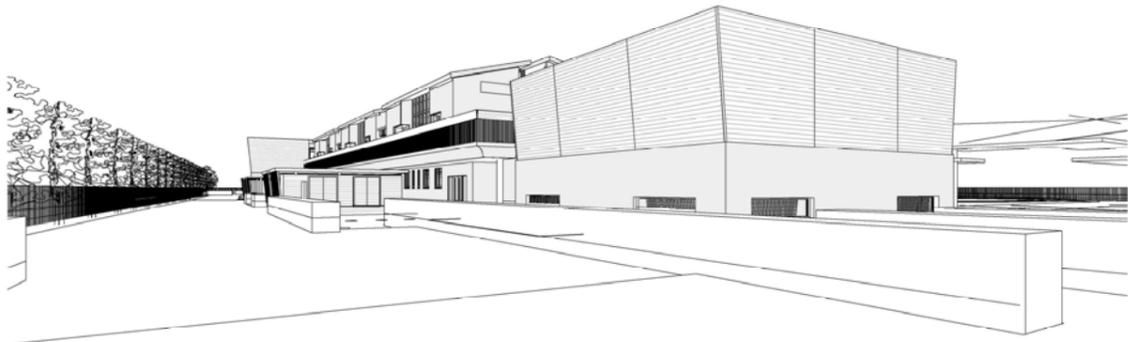
外観パース（南側）



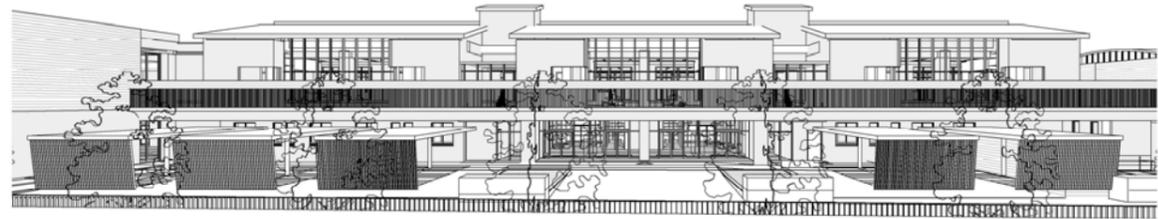
01 堤防より全体を望む



01 堤防より東門を望む



01 正門から校舎を望む



01 堤防より昇降口を望む



立面図 北面
1 : 200

外観スケッチ（北側）



02 グラウンドより全景を望む



02 ハウス側より校舎を望む



02 体育館側より校舎を望む



立面図 南面
1 : 200

外観スケッチ（南側）

■内観計画

<内観基本コンセプト>

- 木に優しく抱かれた学校づくり
- 豊かな自然に開かれた空間づくり
- 様々な交流の場の創造

○木に優しく抱かれた学校づくり

学校生活を送る空間として、基本的に内装材・家具などに木材を採用し、ぬくもりを持った学習空間を実現させます。特に、普通教室・多目的スペース（2階）と図書室・コンピュータ室・多目的スペース（1階）には、県産材の木材を積極的に採用します。

○豊かな自然に開かれた空間づくり

室内に居ながら勝浦町の豊かな自然を感じられる空間構成とします。

普通教室・多目的スペースには、南北にデッキテラスを整備し、双方に開かれた空間とすると共に、特別教室群では、中庭を囲むことで、外部の自然を感じられる空間づくりとします。

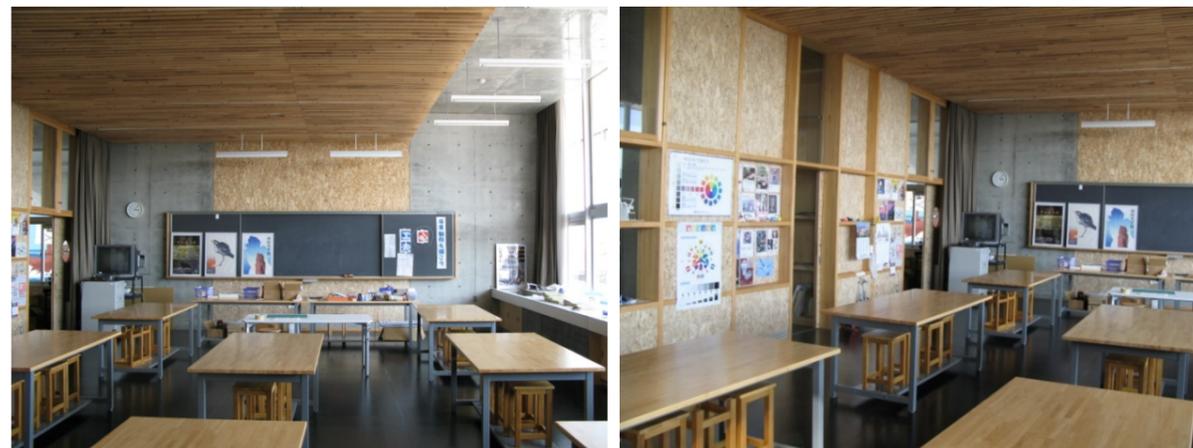
また多目的スペースと中庭空間は、1階・2階とが一体となった交流の場として機能します。

さらに階段室については、単なる移動手段ではなく、明るく開放的な憩いの空間として整備します。

○様々な交流の場の創造

普通教室廻りには、広いデッキテラス、多目的スペース・「房」（小さい憩い空間）といった趣の違う場をそれぞれ確保し、休み時間などの交流の場とします。ベンチなどを設置し、生徒間・生徒-先生間などの交流を促進させる計画とします。

木質内装学校イメージ（教室）参考事例





03 普通教室内部1



03 普通教室内部2



03 多目的スペース内部3



03 多目的スペース内部2

内観スケッチ

■建築計画概要

○敷地概要

地名地番：徳島県勝浦郡勝浦町大字久国字久保田 45 番地 1

敷地面積：24,160.20 m²

住居表示：なし

都市計画区域：都市計画区域外

用途地域：指定なし

防火地域：指定なし

22 条地域：指定なし

建ぺい率：指定なし

容積率：指定なし

その他の地域：河川区域から 18m の範囲のみ河川保全区域

開発の要否：1ha 以上の土地の区画形質の変更の場合許可が必要

○付近見取図



○建物概要

主要用途：中学校

工事種別：改築

構造：鉄筋コンクリート造

規模：地上 2 階（地下なし）

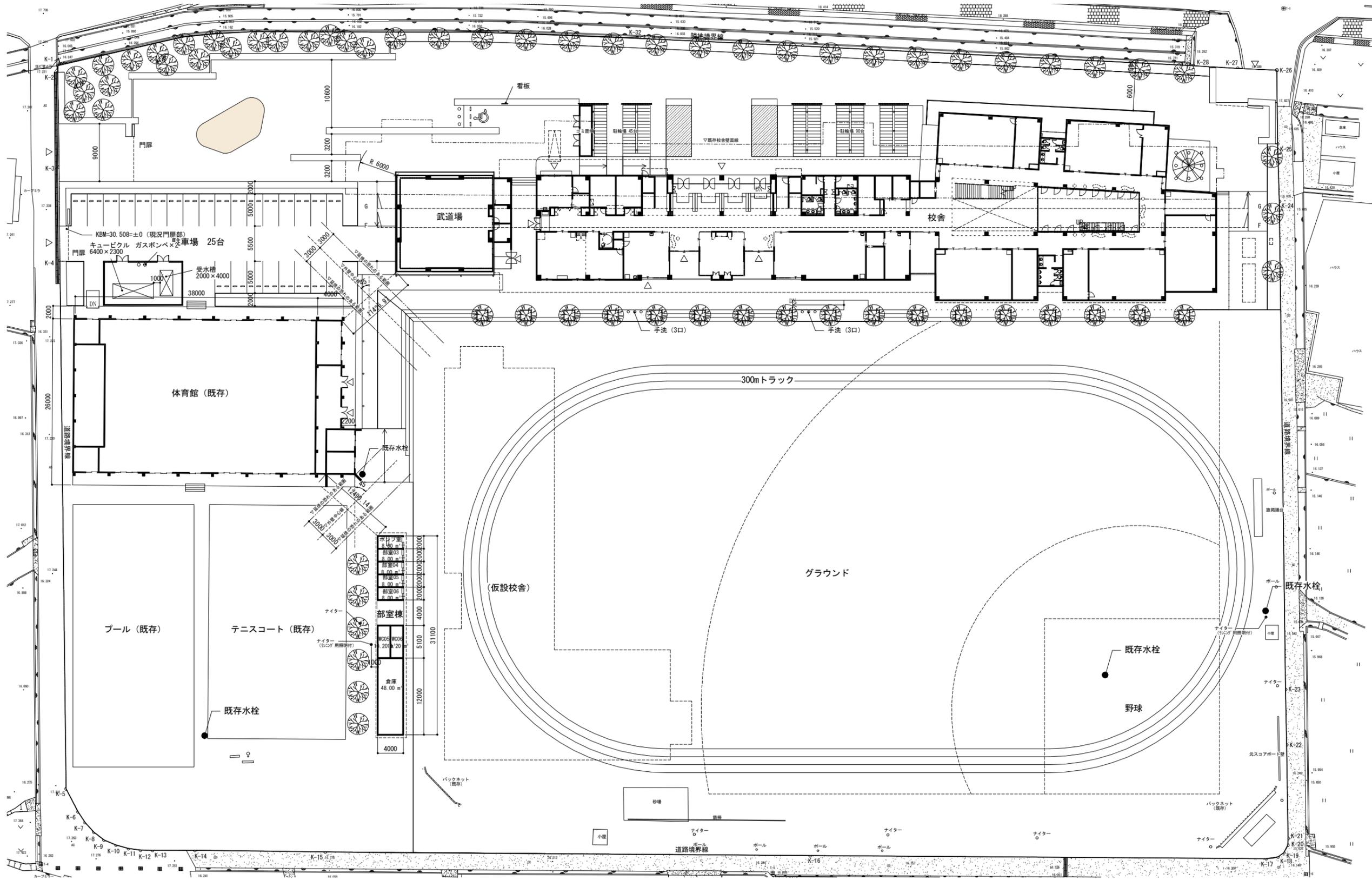
床面積：	<校舎>	<法定床面積>	<床面積>
	2 階	1,733.99 m ²	1,592.86 m ²
	1 階	2,138.43 m ²	1,968.58 m ²
	校舎合計	3,872.42 m ²	3,561.44 m ²
	<武道場>	270.80 m ²	270.80 m ²
	<屋外部室>	108.40 m ²	108.40 m ²
	延床面積合計	4,433.72 m ²	3940.64 m ²

建築面積：	<校舎>	2,282.47 m ²
	<武道場>	286.34 m ²
	<屋外部室>	125.79 m ²
	<駐輪場等>	253.27 m ²
	建築面積合計	2,947.87 m ²

軒高： 10.7m

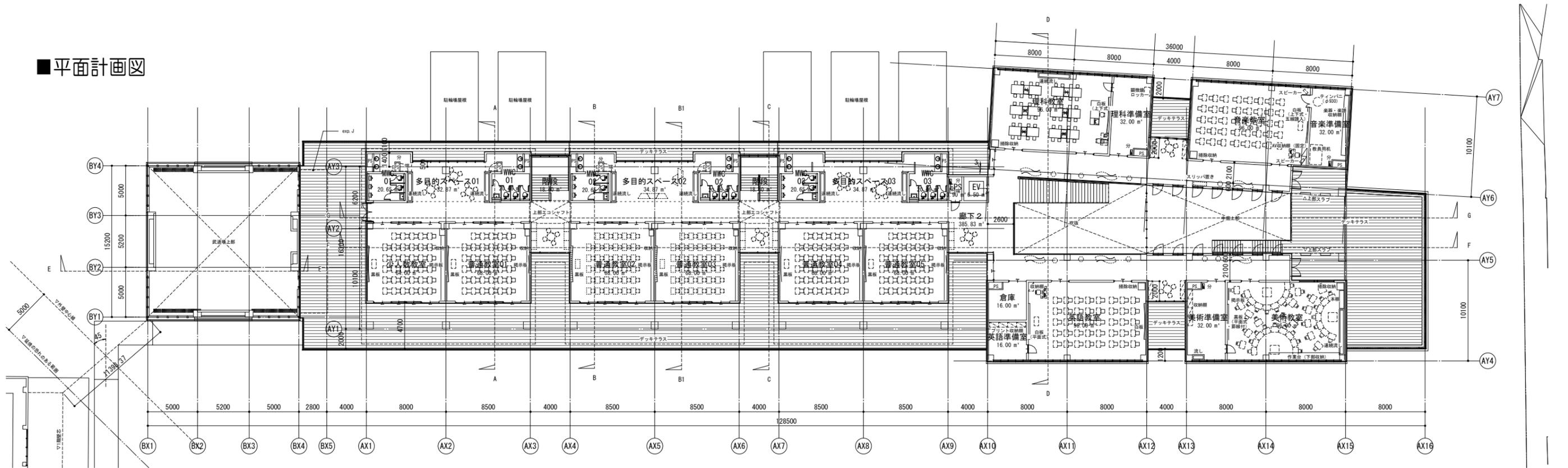
最高高さ： 12.7m

■配置計画図

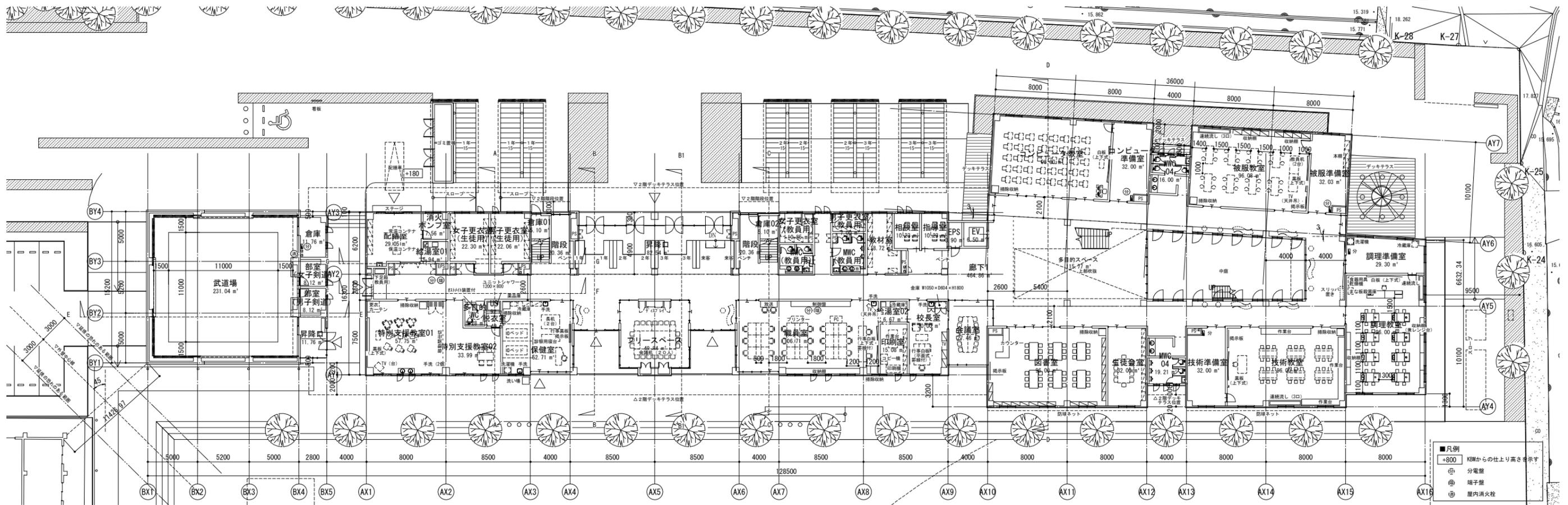


配置計画図 1:600

■ 平面計画図



2階平面計画図 1:400



1階平面計画図 1:400

- 凡例
- +800 KGMからの仕上り高さを示す
 - 分電盤
 - 端子盤
 - 屋内消火栓